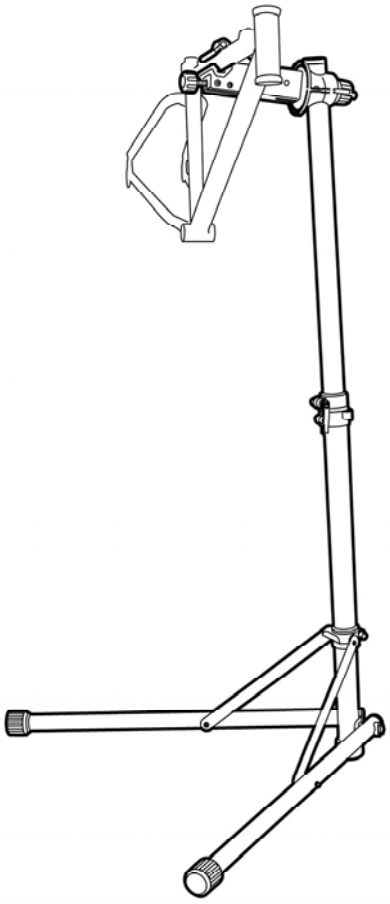
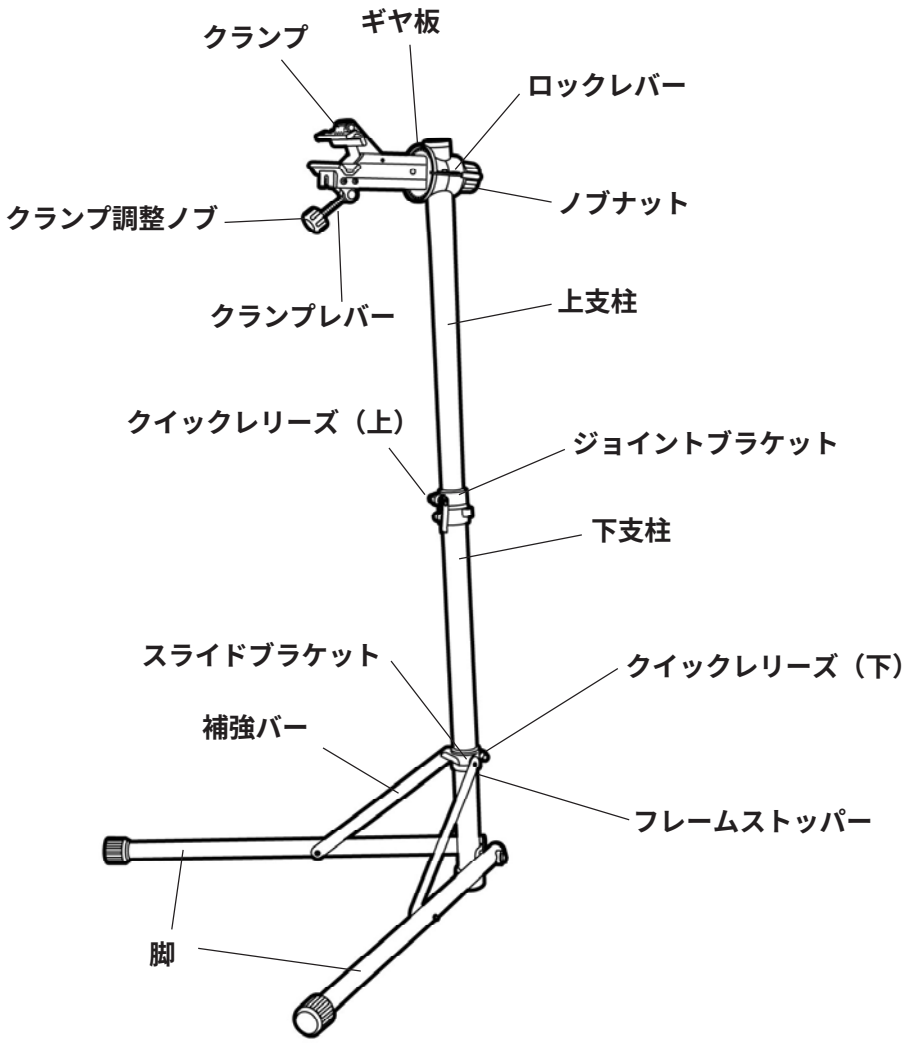
Bicycle workstand RS-5000 取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください

このたびは弊社アルミリペアスタンド「RS-5000」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
RS-5000は自転車のシートポストやフレームを固定することで、自転車の組み立てや修理をより簡単にするためのリペアスタンド（作業台）です。本体は折り畳み可能な軽量アルミパイプ製で持ち運びや収納にも便利なだけではなく、作業に耐える十分な強度を確保しています。
本体はあらかじめ組み立て済みで、すぐに使えるようになっていますが、安全のためお使いになる前にこの説明書をしっかりとお読みください。

RS-5000　使用例

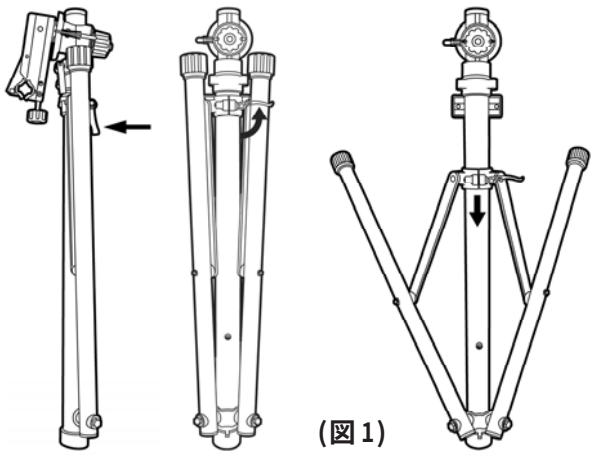




セットアップのしかた

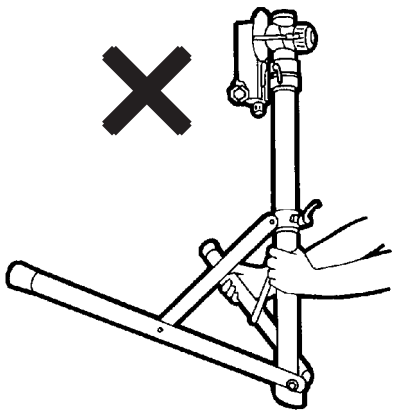
RS-5000はすぐにお使いいただけるようにあらかじめ組み立てていますので、簡単な操作だけで使用可能となります。
以下にその操作方法を示します。

1 クイックレリーズ（下）のレバーを開き緩めた後、スライドブラケットがフレームストッパーに当たるまで脚を開きます。(図１参照)



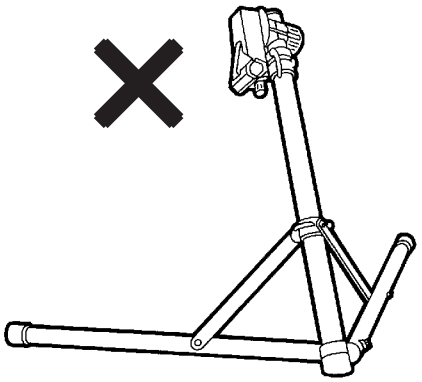
(図1)

脚を開くときは支える手の位置にご注意ください。
支える手の位置は必ずスライドブラケットよりも上になるようにしてください。(図２参照)



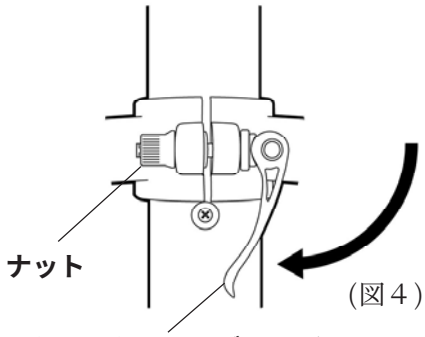
(図２)

脚を開くときは開く方向にご注意ください。(図３参照)
図のようにひねって脚を開いた場合､安定した作業ができないだけでなく、大変危険です。
脚を開いたとき､その中心にクランプがくるように正しくお使いください。

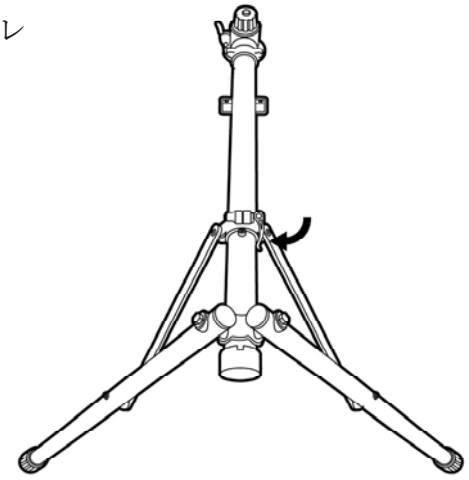


(図３)

2 正しく脚を開いた後はクイックレリーズ（下）のナットを締め、レバーを図のように下方向へ閉じてください｡(図４・図５参照)



(図４)

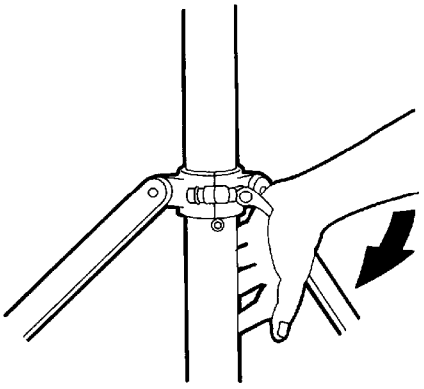


(図５)

クイックレリーズ（下）の締め付けが弱い場合、自転車をクランプに乗せ重量をかけると､自転車ごと倒れるなどのアクシデントが起こります｡下記のように確実に締め付けが行われているかチェックをしてから次の工程へお進みください。

1．クイックレリーズ・レバーを開いている状態でナットを徐々に締めながらレバーを開け閉めします｡レバーを閉める手に抵抗を感じるまでナットを締めます。

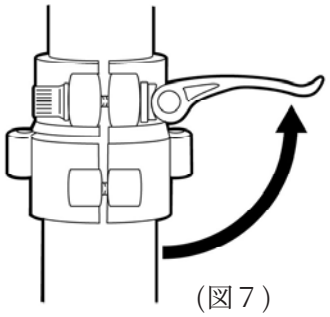
2．次にクイックレリーズ・レバーを手のひらを使って下方向へ力いっぱい強く締めます｡(図６参照)



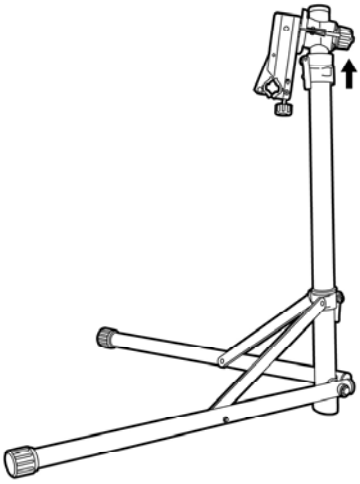
(図６)

3 クイックレリーズ（上）のレバーを開き緩めた後、上支柱を下支柱から引き上げます。（図７・図８参照）

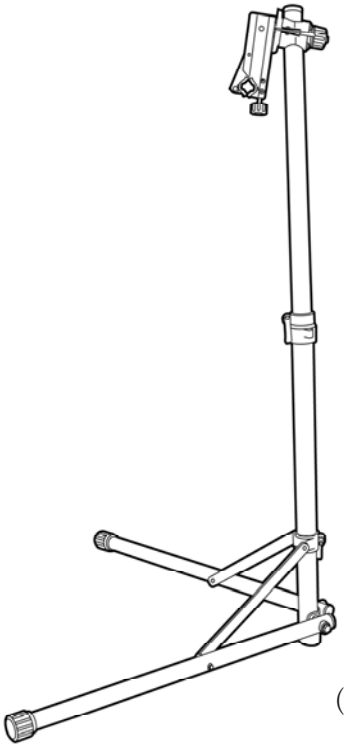
作業に必要な分だけ上支柱を引き上げてください。(図９参照)
次にクイックレリーズ（上）のレバーを締め付け、固定してください。



（図７）

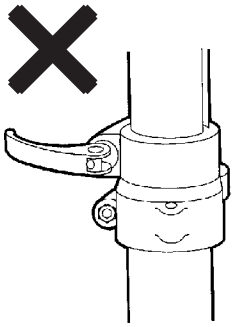


（図８）

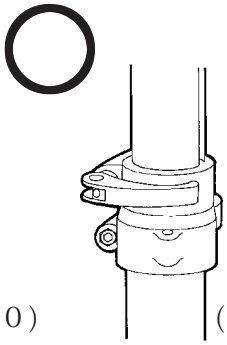


（図９）

クイックレリーズ・レバーは図１０のような方向へ締付けないでください。図１０の方向へ締付けた場合、使用中にレバーを引っ掛けて解除してしまう危険性があります。　図１１のようにジョイントブラケットに沿って締付けるか、もしくは下方向へ締付けてください。締付け力に関する注意は前ページ２の注意事項を参照してください。



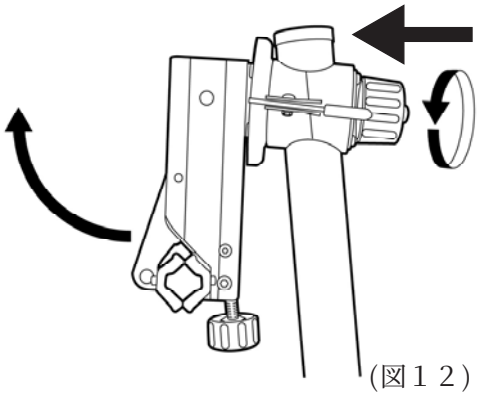
（図１０）



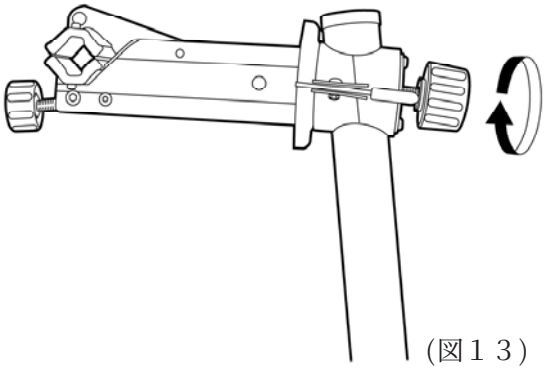
（図１１）

4 ノブナットを最後まで緩め、次にノブナットを矢印方向へ押し込みます。(図１２参照)　クランプを図１２のように持ち上げ、クランプが水平になったことを確認後、ノブナット側へ押し戻します。

クランプがギヤ板に収まり、図１３のような状態になれば、ノブナットを右方向へ回し固定します。（図１３参照）

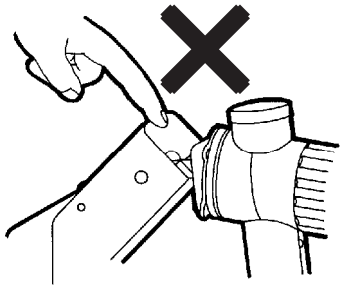


（図１２）



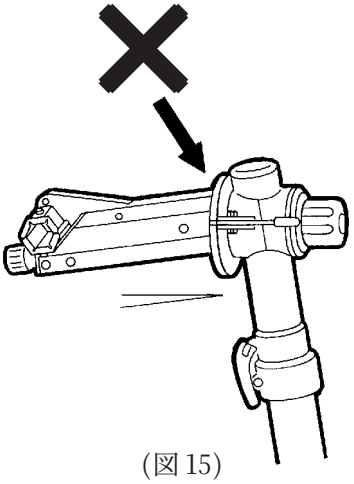
（図１３）

クランプを固定する際はクランプとギヤ板の間で指を挟まないように注意してください。(図１４参照)
またクランプの端は鋭くなっていますので、指を切らないように注意して扱ってください。



(図 14)

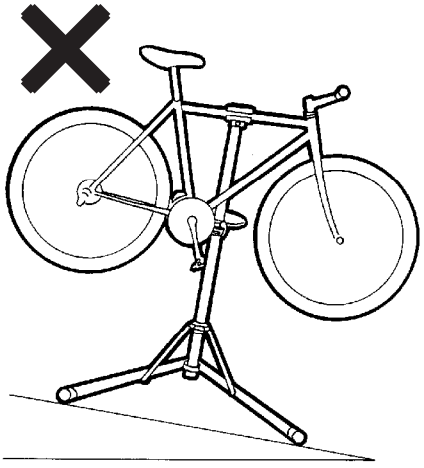
もしクランプが十分に固定されていない場合、本来の固定力を得られないだけでなく、クランプやギヤ板などを破損する原因となります。またRS-5000だけでなく、固定している自転車にもトラブルが発生する可能性もあります。クランプの状態が図１５のように水平でない場合は、必ず正しく水平にクランプを固定しなおし、水平を確認のうえご使用ください。



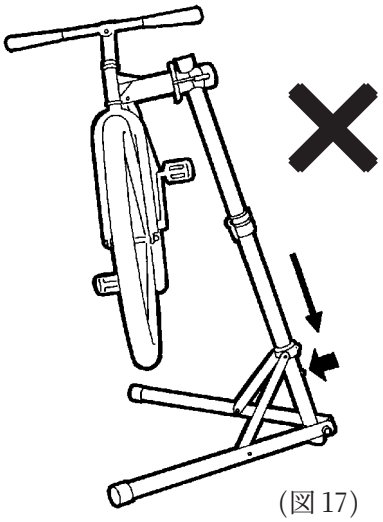
(図 15)

自転車の固定の仕方

1 固定する際は必ず平らな床か地面に置くようにしてください。(図１６参照)
次にスライドブラケットが確実にフレームストッパーの位置まで下がっており、固定されているかを確認してください。(図１７参照)

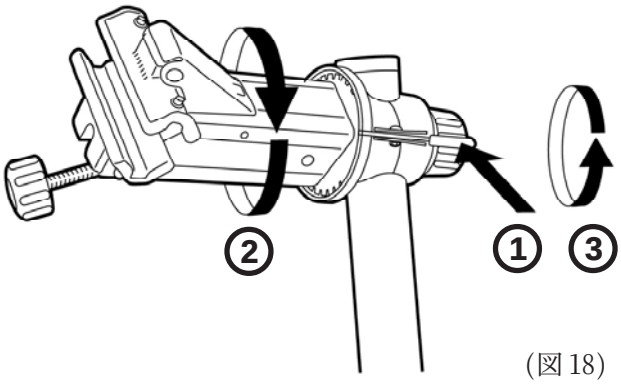


(図 16)



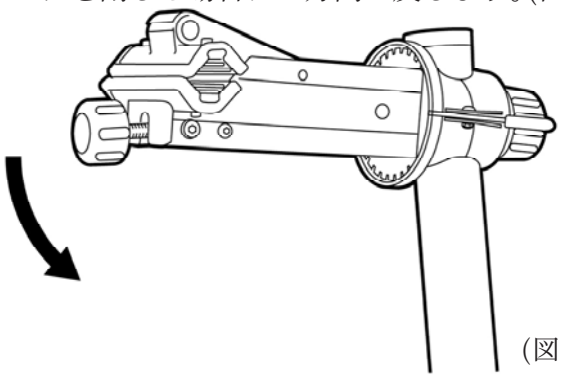
(図 17)

2 ノブナットを少し緩め、ロックレバーを押すことでギヤ板の固定を解除し、固定する自転車の状況に合わせてクランプを回転させます。
次にロックレバーをギヤ板へ固定し、ノブナットを右方向へ回し確実に固定します。(図１８参照)

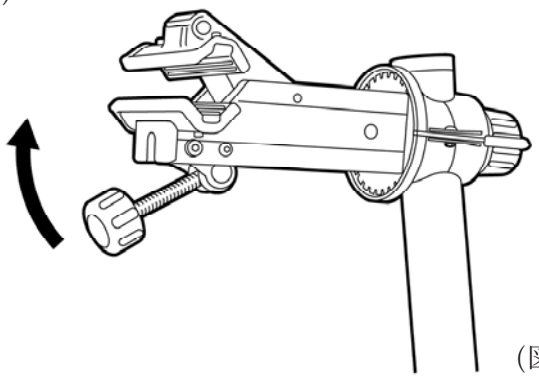


(図 18)

3 クランプを開くにはクランプレバー先端のクランプ調整ノブを持ち、
下方向へ下げることで開きます。(図１９参照)
クランプを閉じる場合は上方向へ戻します。(図２０参照)

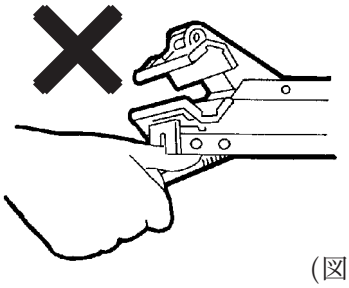


(図 19)



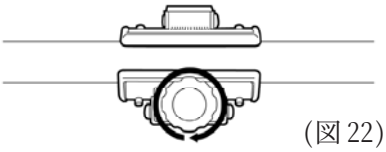
(図 20)

⚠ **クランプレバーを操作する際はクランプとクランプレバーの間に指を挟まないように注意して操作してください。(図２１参照)**



(図 21)

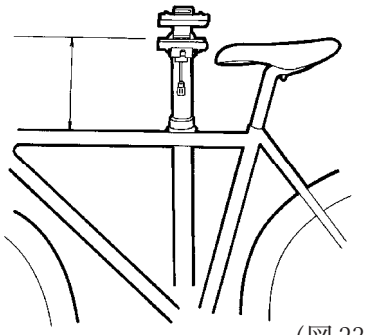
4 クランプの開き幅を調整するにはクランプ調整ノブを回転させ、調整します。(図２２参照)
時計と同じ方向へクランプ調整ノブを回すとクランプ幅は狭くなり、逆方向へ回すとクランプ幅は広くなります。



(図 22)

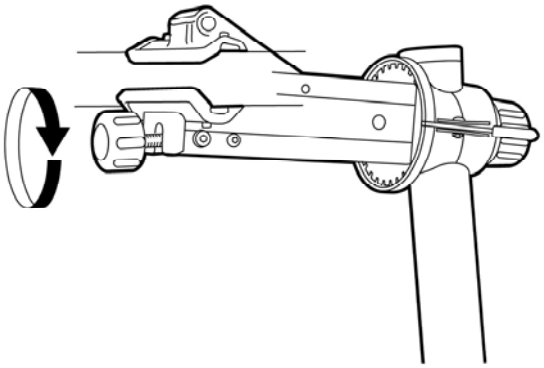
5 ここから実際に自転車をクランプに固定する手順となります。

自転車のトップチューブを固定する場合、クランプの位置は固定するトップチューブの角度に合わせてセットしてください。(図２３参照)



(図 23)

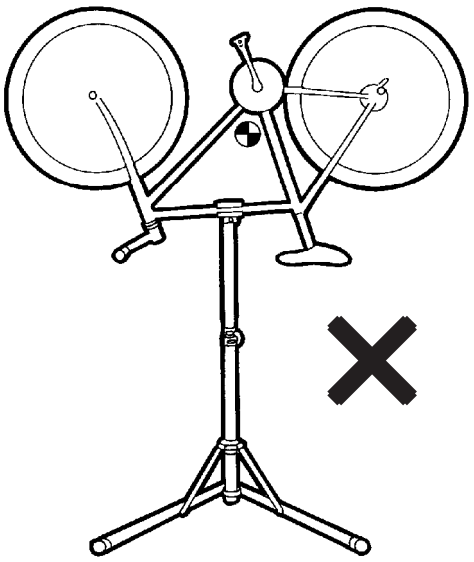
6 クランプレバーを下げ、クランプを開きます。次に自転車のトップチューブをクランプに乗せ、クランプレバーを確実に閉じます。クランプ調整ノブを回転させ、トップチューブとクランプにぐらつきがなくなるまで回します。(図２４参照)



(図 24)

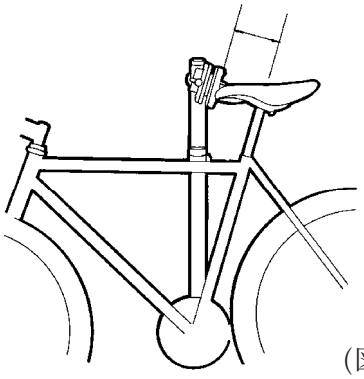
⚠ **安全上の理由から図２５のような方向で自転車を固定しないでください。(図２５参照)**

⚠ **クランプレバーが上になるような方向でクランプを固定しないでください。クランプレバーを解除した際、自転車が落ちることになり、大変危険です。**



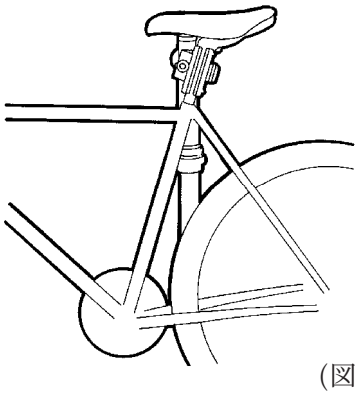
(図 25)

7 トップチューブの代わりにシートポストで固定する場合、クランプのロックレバーを操作し角度を合わせてから固定してください。
(図２６参照)またクランプの大体の開き幅を、クランプ調整ノブを回すことであらかじめ合わせてから固定すると作業がスムーズになります。



(図 26)

8 Step:6. を参照にシートポストを確実に固定します。
(図２７参照)



(図 27)

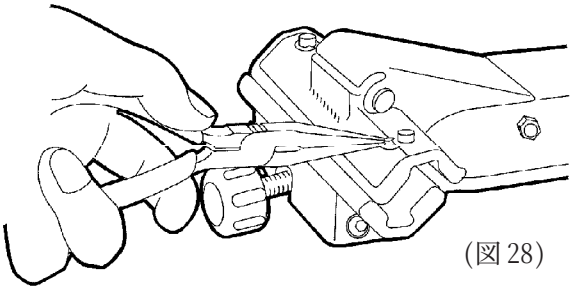
クランプパッキンの交換のしかた

クランプパッキンが磨耗したり、破損した場合は以下の要領で交換が可能です。
クランプパッキンのお求めはお買い求めになったショップにてご購入ください。

1 **クランプパッキン凸部にはめ込んである E 型リングをラジオペンチなどで横に引き抜いて外します。(図 28 参照)**
外したE型リングは再び使用するので、捨てないでください。

2 **古いクランプパッキンを外し、新しいものと交換します。**

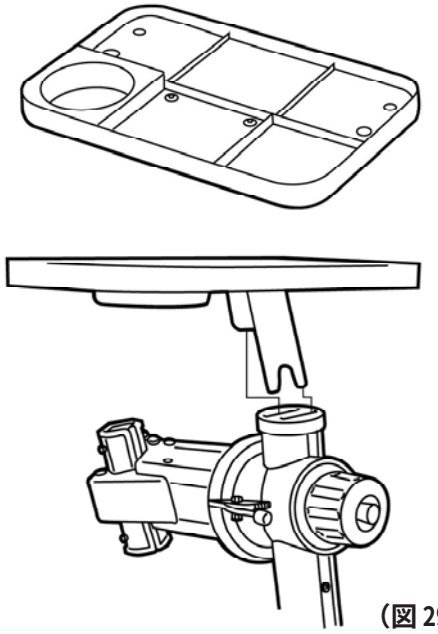
3 **E 型リングをはめて完了です。**



(図 28)

工具皿について

付属の工具皿を取り付けるときは、上支柱の最上部の溝に
工具皿先端金具を差し込み使用します。（図２９参照）



（図 29）

日常の点検と保管について

**RS-5000 をご使用になる前には必ず次のことを点検し、不具合がないことを確認してから
お使いください。**

1. 各部の締め付け状態を見て、緩みや外れがないかどうか。
2．クランプが確実に取り付けられているかどうか、クランプに亀裂などが入っていないかどうか。
3．フレームなどが変形したり、亀裂や破損がないかどうか。

また RS-5000 を使用しないときは折り畳んで、小さなお子様の手の届かない安全な場所へ保管してください。

お問合せ先

本製品に関するご質問、ご相談等は下記窓口にて受け付けております。

製造元　：　株式会社 箕浦
〒 503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1
TEL(0584)27-3131 FAX(0584)27-4258
http://www.minoura.jp
infodesk@minoura.jp

販売元　：　株式会社　深谷産業
〒 460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 1-38
TEL(052)321-6571 FAX(052)332-3166
http://www.fukaya-sangyo.co.jp
fk.info@fukaya-sangyo.co.jp

MADE IN JAPAN

Copyright © 2004-2005, MINOURA CO.,LTD. All Rights Reserved.